

成人先天性心疾患科に通院中の患者さんご家族へ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあてはまる方の中で、この研究のもっと詳細をお知りになりたい、「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記、相談窓口の担当者までご連絡ください。「自分の情報を使ってほしくない」と連絡をいただいた際には、患者さんの情報の利用をただちに停止いたします。しかし、研究成果がすでに発表されてしまった場合など、撤回できない場合もございます。研究協力に拒否された場合でも、それによってあなたが治療を受ける上で不利益を被ることは一切ありません。

【対象となる方】心房性頻拍（心臓の上の部屋（心房）から起こってくる脈拍が早くなる不整脈）を合併する先天性心疾患で、2005年1月以降に当院で診療を受けた患者さん

【研究課題名】先天性心疾患に合併する心房性頻拍に関する研究

【研究代表機関】静岡県立総合病院 成人先天性心疾患科 研究責任者 宮崎 文

【共同研究機関】聖隷浜松病院 小児循環器科・成人先天性心疾患科 研究責任者 中嶋八隅

【研究の目的】

今回の研究目的は、先天性心疾患（CHD）に合併する心房性頻拍（心臓の上の部屋（心房）から起こってくる脈拍が早くなる不整脈）を詳細に検討し、その病態を解明することです。

医療技術や外科手技の進歩によって、CHDの生命予後は著明に改善していますが、CHD患者さんにおいて心房性頻拍は主要な問題の一つです。CHDに合併する心房性頻拍の患者さんと、CHDを合併しない一般成人が大きく異なる点は、左心房（心臓の上の左側の部屋）よりも右心房（心臓の上の右側の部屋）により負担がかかるため、右心房の筋肉からの頻拍（脈拍の早い不整脈）が多いことです。特に心房細動（心房の筋肉が細かくゆれるような不整脈）のおこり方、不整脈の原因となる場所や筋肉の詳細についてはいまだ明らかではありません。

そこで、カテーテルアブレーション（不整脈の治療法）症例を中心に、個々の皆様に行った治療やその効果を詳細に検討して、CHD患者さんに合併する心房性頻拍の病態を明らかするため研究を計画しました。この研究をもとに、その不整脈基質の除去・

抑制を目的とした治療戦略を構築し、将来はその要因の発生をおさえる治療を目指しています。

【研究期間】 2022年2月16日～2033年12月31日

【研究の方法】

- ・利用するカルテ情報・資料：診断名、生年月日、性別、身長、体重、解剖学的診断名、過去の手術の既往、血液検査、画像検査、心電図検査、カテーテル検査、カテーテルアブレーション治療、内服薬、頻拍に対して行った外科治療等
- ・共同研究機関で仮名加工した情報を研究代表機関が収集し解析を行います。各研究機関で作成した個人と対応する一覧表は各施設で管理し、共同研究機関との提供方法はメール送信により行います。

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【研究費】 この研究で使用する研究費はありません。

【相談窓口】

静岡県立総合病院 成人先天性心疾患科
担当医師 宮崎 文
電話 054-247-6111(代表)

聖隷浜松病院 小児循環器科・成人先天性心疾患科
担当医師 中嶋 八隅
電話 053-474-2222(代表)